



サポートセンター通信

第43号

発行日：平成 25年 1月15日 第43号

発行：松本市民活動サポートセンター
〒390-0874 松本市大手 3-8-13
松本市役所大手事務所 2階
TEL/FAX：0263-88-2988
E-mail：support-center@support-center.jp
URL：http://www.support-center.jp

プラチナフォーラムを開催しました！



(上) 講師の吉永鴻一先生と
(下) 熱心に話を聞く参加者の皆さん



12月14日(金) プラチナ世代の皆さんの豊富な知識や経験、技能をまちづくりや市民活動などに活かしていただくための「プラチナフォーラム」を開催しました。

基調講演は、平成19年にもお招きした、お父さんお帰りなさいパーティー推進センター長の吉永鴻一さんに、「震災時における日本人の底力～まず一步をふみだそう～」という演題でご講演いただきました。

昨年4月から実施している宮城県石巻市での支援活動を通じて、日本人の底力として「人とつながる力」「人を思いやる力」、そして「苦難を超える力」を強く感じたとのこと。しかし、逆に今はその力が弱くなってきており、孤立化や PTSD といった難しい課題が新たにできています。復興を進めるためには、そういった課題と向き合い支援していくボランティアが必要であると感じているそうです。また、人口増加社会から人口減少社会へ時代が変わっていく中で私たちには何ができるのか、市民一人ひとりが主体となり、いきいきと暮らせるまちづくりを考えていく意識と活動が必要であると述べられ、多くの活動経験に基づく説得力のある講演でした。

その後の事例発表交流会では、6名の発表者が活動を始めたきっかけについて語り、活動実演を行いました。「何かしたい」「社会に何か恩返しをしたい」という思いから、いろいろ考えずに勇気を持って、まず一步を踏み出したという経験談があり、手遊びや漫談などの活動実演もあったため、会場には多くの共感の声や笑いが溢れていました。

最後に吉永講師から今日の参加者で会を立ち上げたらという声かけに14名もの賛同があり、アンケートにも92%の方が「フォーラムに参加して社会参画への意識が高まった」という回答をいただいて、市民活動へつながるきっかけづくりのフォーラムは終了しました。今後、会の立ち上げに賛同された皆さんと話し合いながら、新たな活動やまず一步をふみだす機会をつくっていききたいと思います。(うち)



交流会では、活動紹介の1コマで参加者が著作りを体験していただく場面もありました

資金調達セミナーのご案内

元気づくり支援金が変わります！

次年度の資金調達はお済みですか？活動のための資金として身近で関心の高い「地域発 元気づくり支援金」獲得に向けた直前再確認と、長野県で始まる公共的活動向け寄付制度をご紹介します講座です。

- 日時 平成25年1月23日(水) 18:30~20:30
場所 松本市民活動サポートセンター
- 内容 (1) 25年度「地域発 元気づくり支援金」
交付要領の改訂と申請書類の書き方のポイントについて
講師：松本地方事務局 地域政策課職員
- (2) 「長野県みらいベース(仮称)とは？」
寄付により公共的活動を応援する新たなしくみについて
講師：(仮称)NPO法人長野県みらい基金 増田綾子
- (3) 個別相談会(要事前申込み) 提出前に再確認！

参加費 無料 TELまたはFAXにて、サポートセンターにお申し込みください。

平成25年度 「地域発 元気づくり支援金」 申請受付

受付期間：

平成25年1月4日(金)~2月1日(金)
平日 9:00~17:00

受付場所：

市民活動サポートセンター



今年度市民活動サポートセンターでは、東日本大震災避難者交流事業の一環として、託児ボランティア養成講座を社協ボランティアセンターと共催で実施し、多くのボランティアが誕生しました。9月からその活動を開始しましたが実際に託児に関わってみると多くの発見があったようです。

母親から離れずずっと泣いていた女の子。いつしか担当のTさんと一緒に満面の笑顔でおままごとをしていました。Tさんが他の子のところへ行こうとすると後追いをするほど、とっても仲良しになれました。しかし、母親が迎えに来ると一目散に“ママ”と駆け寄っていきました。やはり母親にはかなわないとちょっぴり淋しくなったTさんでした。

また、ある託児中に幼児の鼻水をふいてあげようとしたのに身近になかったことがありました。こんな時エプロンをしていたらポケットからすぐにティッシュをとりだせると感じたYさん。検討すべき課題です。

“ありがとうございました。助かりました。”という利用者からの一言は疲れを忘れさせたと語る人もいました。

それぞれが活動を振り返り感じたこと等を意見交換することで、より良い託児ボランティアができるのではと考え、またボランティアどうしの絆も深めたいとの思いからサポートセンターで勉強会や交流会を行う予定です。

今後ボランティアセンターとの連携も強め、更なるスキルアップをめざした講座も案内していきます。(やまざき)

ボランティア交流集会

地域ではさまざまなボランティア活動をされている方々がいます。地域の助け合い活動、自分達の地域を何とかしたいとまちづくりに関わる活動など分野もさまざまです。今こそボランティアの底力が必要とされています。

2月9日(土)に行われる標記集会で実際に活動されている皆さんの活動を見聞きして、活動を始めるきっかけをつかんだり、新たな出会いの場としてご利用下さい。

詳しくは4面をご覧ください。



託児ボランティアスキルアップ講座

心を耕す力～わらべうた、昔話を中心に
日本語の持つ美しい響きを伝える術を学びませんか

日時: 1月22日(火)10時～11時30分

講師: 谷口 和恵 (JPIC 読書アドバイザー)

場所: 市民活動サポートセンター

*受講ご希望の方は市民活動サポートセンター
0263-88-2988 まで御連絡下さい。

プラチナ世代支援セミナーと「サンタ・プロジェクト・まつもと」

～ あなたもサンタクロースになりませんか? の呼びかけのもとに ... ～

8月のセミナーで大澤秀夫講師から紹介していただいた「サンタ・プロジェクト」を松本でも行いたいというメンバーが集まり、10月初旬に正式に「サンタ・プロジェクト・まつもと」が発足。

クリスマスの時期を病院で過ごす子どもたちに絵本を贈る取り組みに合わせて、12月5日(水)にプラチナ世代支援セミナー「あなたもサンタクロースになりませんか?」を開催し、「サンタ・プロジェクト」の紹介と、実際に本を選ぶ際に役立ててもらおうための「絵本から広がる世界」という講演会を行いました。

参加者は、講師 谷口和恵さん(JPIC 読書アドバイザー)による、わらべうたや素話を楽しむとともに、おすすめの絵本を実際に見ながら説明を受け、理解を深めました。何人もの方が、講座終了後、すぐに子ども情報カードをもとに絵本を選び、その子にあてたメッセージカードを記入して、サンタクロースになってくださいました。

その後、協力書店(ちいさいおうち書店、平安堂あづみ野店、リプロ松本店)に多くの方々にお運びいただき、早々に目標の冊数に達し、添えられたメッセージカードも「あなたのことを応援してるよ」など暖かいお心の詰まったものばかりだったとか。

結果として、信州大学医学部附属病院に29冊、県立子ども病院に70冊の絵本をお届けすることができ、病院の方々からは、子供の励みになりますというお言葉も頂いたようです。

今回のプロジェクトの成功は、人が人を想う暖かい気持ちのつながりを感じさせてくれるものであり、参加したサンタクロースさんたちにも、暖かい気持ちをもたらしてくれたのではないのでしょうか。

(かない)



子ども病院原田院長先生(左)方がサンタの衣装で入院中の子どもたち達にプレゼントした時の様子

サンタ・プロジェクトのしくみ

協力病院から子どもの情報(性別・年齢)を提供してもらい、情報カードを作成、協力書店に預ける。賛同する方は書店でその情報カードを見て一人の子どものために1冊本を購入し、メッセージカードに記入する。書店でラッピングした本といっしょにサンタ・プロジェクト・まつもとが病院に届けるもの。



ながの不登校を考える県民の会

TEL:0265-76-7627 FAX: 0265-94-2064

(上伊那子どもサポートセンター内)

「不登校」と聞いて、あなたはどんなイメージを抱くだろうか。昨年はメディアでもいじめ問題などが大きく取り上げられ、教育の場のあり方を今一度問い直すとする動きが強まっている。ネガティブに捉えてしまいがちなテーマだが、それ以前に“私には無関係”とあまり実感を持たずにいる人も少なくないだろう。今回は「不登校を考える県民の会」代表の田村恵子さんにお話を伺った。会の前身は「不登校を考える県民のつどい」の実行委員会。過去2回の開催を経て、“こうしてほしいという思いを具体的な文章に纏め上げ、もっと政策の中に当事者の声を盛り込んでいかなければいけない”という思いから、現在は長野県と協働で不登校支援の政策づくりにも携わっている。学校へ行けない子どもや親に対する支援策だけではなく、学校の間口をもっと広くする、多様な学びの場を確保するなど、子どもたちを取り巻く環境をシステムとして変えていけるかがこれからの課題、と田村さん。



不登校を考える県民のつどいは昨年12月に第3回を開催(左写真)。テーマごとに分かれて2時間しっかりと話し込む座談会では、不登校に悩む当事者に

としては“話せる”場、不登校を知りたい支援者が“知る”場として、濃密な意見交換がなされた。「不登校はいけないことと思い悩んでいたが、子どもが自分に合った道を選んで進めばいいのだと知り気持ちが楽になった。」という声もあったという。ひと口に不登校といっても、その理由、解決方法はさまざま。私たちが不登校をひとつの選択として受け止め、ひとりひとりに向き合い続けることが、なによりも彼らの救いになるのだろう。「目標はすべての子どもたちが幸せに笑顔で暮らしていけること。助けを求めるのは勇気があるけれど、悩んでいるのはあなただけじゃない。手を伸ばせば仲間がたくさんいる。」という言葉が心強く印象的だった。(なががわ)

book gift project

～本を通じての社会貢献活動～



サポートセンター内に設置されている大きな本棚。その中には、子育て・環境・福祉など皆さまの市民活動に役立てていただけるものから、小説・雑学などちょっと一息できるものまで、様々なジャンルの書籍が並んでいます。こちらの書籍は、(株)バリューブックスが社会貢献事業の一環として取り組んでいる「ブックギフトプロジェクト」の中で設置していただいたもの。

今号では、社会貢献事業に積極的に対応している(株)バリューブックスの取り組みを紹介します。(かわかみ)

ブックギフトプロジェクトとは?

(株)バリューブックスは、インターネットでの古本の買取・販売をおこなっている企業です。その中で、販売することができなかった本をただ処分するのではなく、有効に活用するために始まった取り組み。それが古本のリユース活動である「ブックギフトプロジェクト」です。

「本を必要としている人の元へ届けよう!」との想いのもと、広益な活動をされている様々な施設へ、無料で書籍を設置する取り組みを進めています。本の設置先は、本社のある東京都、買い取りセンターのある長野県をはじめ全国へと広がっています。

さまざまな社会貢献事業への取り組み

(株)バリューブックスは、様々な社会貢献事業を行っています。その中の一つが、「陸前高田市図書館ゆめプロジェクト」。東日本大震災の大津波により壊滅的な被害を受けた岩手県陸前高田市の図書館を再建するため、プロジェクトに賛同された方から書籍を提供していただき、その買取金額相当を図書館再建費用として陸前高田市に寄付する活動です。平成24年11月末には寄付金額が718万円を越えました。

また、上田市で若者の自立支援を行っている認定NPO法人「侍学園スクオーラ・今人」の校舎が炎上した際には、本の買い取りを通じて校舎再建に協力。その後も、同法人の運営に継続的な支援を行っており、今年の4月以降には両者による社会貢献事業を専門に行う新会社の設立が計画されています。侍学園は、これまでバリューブックスの協力で生徒達の就労体験を行ってきた経験があります。新会社の従業員には同学園の在学学生や卒業生が雇用され、その際に得たノウハウを活かしていく予定です。

なお、市民活動フェスタでは2011、2012と2年続けて来場者の方への景品として書籍を何セットも寄贈して頂いています。

(写真はその一部です)



問合せ: 株式会社バリューブックス
TEL: 0268-75-9377
E-mail: info@valuebooks.jp
HP: <http://www.valuebooks.jp/>



イベント・募集情報をお寄せください。

サポートセンター通信やホームページで、皆さんのイベント情報や募集情報などをご紹介します。

地球環境問題と自然エネルギーを考える市民講座

私たちの住む地球環境は、未来の子どもたちから借りているたった一つのかげがえのないものです。自然を守るために私たちは何をしていくべきなのかを市民講座を通して学びます。

第一部：原発とエネルギー問題

講師：平島 安人（自然エネルギーネットまつもと代表）

第二部：太陽光発電とドイツの自然エネルギー事情

講師：手塚 翼（信州松本アルプスの風）

日時：1月20日（日）14:00～16:30

会場：塩尻市えんぱーく

参加費：無料

主催：自然エネルギーネットまつもと

問合せ：0263-57-5680（市民講座担当・宮沢）

後援：松本市・塩尻市・安曇野市・自然エネルギー信州ネット



松本大学 地域づくり実践講座

地域づくりに必要な地域の問題・課題解決のために、みんなの想いやつばやき、企画・運営をカタチにしていくための講座です。各回9：40～16：40

日時・内容：

1月26日（土）行政のファシリテーターの視点から

講師：高橋 信博（山形県農林水産部農山漁村計画課 地域づくりプランナー）

2月9日（土）ボランティアコーディネーターの視点から

講師：筒井 のり子（龍谷大学社会学部地域福祉学科教授）
（日本ボランティアコーディネーター協会代表理事）

会場：松本大学6号館4階641教室

参加費：1,500円（資料代含）午前の講義のみは1,000円

締切：各回3日前まで

申込・問合せ：松本大学地域づくり考房『ゆめ』

TEL:0263-48-7213 / FAX:0263-48-7216

E-mail:community@matsu.ac.jp

鹿島槍スキー場&そり体験の風にふれよう！

寒い季節だからこそ！外に飛び出して、子どもたちと冬の大自然を満喫しませんか？遊んだ後は温泉でほっくり疲れを癒しましょう！

日時：1月20日（日）

会場：鹿島槍スキー場

参加費：大人4,000円 小人2,000円 3歳以下無料

指導員付、バス代・リフト代・入浴代含

保険加入

定員：30名

締切：1月18日（金）

申込・問合せ：NPO法人 あずさの虹

0263-26-9520 / 090-1466-0960（宮島）

国・政府・電力会社が明らかにしない原発の真実 原発と放射能 ホントの話

日本の原発と電力の将来計画がいまだに方向が定まっていない中、今、何をすべきか、これから何をしていくべきなのか。反原発活動を推進している広瀬隆さんのお話を聞きながら、これからのことについてのヒントを見つけに行きませんか？

日時：1月27日（日）13:00～16:30

会場：松本市中央公民館

Mウイング6階ホール

参加費：1,000円（高校生以下無料）

定員：360名 定員になり次第締切

主催：「サラバ原発・変えよう暮らし方」の会
原発のない未来をめざす会

申込：090-4628-8549（水谷）0263-33-8154（西村）

<http://no-genpatu.com/hirose> でも受付

後援：松本市・松本市教育委員会・信濃毎日新聞社・
市民タイムス・中日新聞社・朝日新聞松本支局・
毎日新聞松本支局



信州福島県人会 芋煮の振る舞いのご案内

信州福島県人会初の活動です！松本城で開催される『氷彫フェスティバル』内にて、東北名物のあったかい芋煮を振る舞います。ぜひお越しください。

日時：1月27日（日）

会場：松本城 氷彫フェスティバル内

時間：11:00～（芋煮がなくなり次第終了）

問合せ：信州福島県人会 080-6935-0944（横澤）



ボランティア交流会

『日頃のかかわりが地域づくりの基』

～今こそボランティアの底力～

安心で安全な地域を作るためには、自分だけでなく地域全体で考え、協力し合うことが不可欠になります。今よりもさらにボランティアを活性化させるためのアイデアや講演をぜひ聞きに来てください。

第一部：10：00～ 開会、及び活動内容発表

参加者による活動PR

第二部：13：30～ 講演『遺品整理の現場から学ぶ』

～最後まで孤立しないために～

講師：吉田 太一氏（キーパーズ代表取締役）

日時：2月9日（土）10時～15時半

会場：松本市総合社会福祉センター4階他

参加費：無料 昼食希望の方は実費

問合せ：0263-25-7311 松本市ボランティアセンター

編集後記 早いものでサポートセンター業務及び通信作成に携わって2年が経ちました。今回の通信が自分としては最後のかかわりとなります。来年度からは新しいフィールドで、皆様から学ばせていただいたことを還元していけるように尽力してまいります。短い間でしたが、どうもありがとうございました。（とぞわ）